# Jardins da Quinta das Lágrimas

**について**

コインブラ (Coimbra) のモンデゴ川 (Rio Mondego) 左岸にあるキンタ・ダス・ラグリマス (Quinta das Lágrimas) 荘園は、18.3ヘクタールの敷地面積があります。中央には、現在は高級ホテルとなっている19世紀の宮殿があります。周りを囲む庭園には外来種の植物が繁茂しており、中には樹齢200年を超えるものもあります。

南の丘陵には長い散策にぴったりの森林があります。ここには最近、ペドロ (Pedro) とイネス (Inês) の悲恋物語に捧げる中世庭園が作られました。ポルトガルでは他に類を見ない庭園です。この庭園のために隔離された純然たる環境をつくる試みが行われ、植物の選定にあたっては、歴史的彫刻や文書によって大航海時代前からの存在が証明できることを条件に約50種が選ばれました。

キンタ・ダス・ラグリマス荘園は、ペドロ1世 (Rei D. Pedro I) とイネス・デ・カストロ (D. Inês de Castro) との禁じられた恋の舞台としてポルトガル文学の数々の名作に登場します。しかし、彼らのロマンチックな恋の舞台は、実際は別の場所であったことはほぼ間違いありません。それでも、この庭園は “ 愛の運河 ” (Cano dos Amores) として知られる運河をとどめています。伝説によれば、この運河は荘園と宮殿をつなぎ、恋文を送り届ける役割を果たしていました。歴史によると、この運河の水はここで暗殺されたイネスの血で赤く染まったといいます。また、彼女の血の痕は今なお岩に見て取ることができると言われています。この現象は科学的に説明がつきます。血の痕とは実際のところ、ここに生息し、岩を変色させる赤い藻（Hildenbrandia Rivularis） なのです。

現実と虚構の中間で、キンタ・ダス・ラグリマス荘園の庭園は、ロマンチックな雰囲気をとどめており、十分に訪れる価値のあるところです。

**時刻表**

3月～11月15日－火～日:午前10時～午後7時。11月16日～3月15日－木～日:午前10時～午後5時。1月休。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com